

人間のやさしさと強さを見つめて 黒崎彰写真展『群像』

～ハンセン病療養所より～



天真爛漫（山下さんと飴さん）黒崎彰さん撮影

令和7年6月18日（水）～7月13日（日）

6月22日は、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」です。これにあわせ、写真家・黒崎彰さんが全国のハンセン病療養所で撮影した写真を展示します。写真には療養所に隔離された人たちの何気ない日常や、人間回復の闘いや苦難に立ち向かった様子などが写されています。黒崎さんは、「写真そのものを鑑賞、感じて欲しい」と語っています。

◇関連企画

『写真家・黒崎彰さんによる トークショー』

日 時 7月5日（土）午後1時30分～3時

会 場 春日居あぐり情報ステーション
ハイビジョンホール

定 員 100名（参加無料）

※詳細については、裏面をご確認ください。

笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館

〒406-0013 山梨県笛吹市春日居町寺本 170-1

TEL 0553-26-5100 FAX 0553-26-3957

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 毎週火曜日

入館料 一般・大学生 200円、小・中・高校生 100円

◇関連企画

『写真家・黒崎彰さんによるトークショー』

日 時 7月5日(土) 午後1時30分～3時
会 場 春日居あぐり情報ステーション ハイビジョンホール
定 員 100名(参加無料)
出 演 黒崎 彰氏(写真家 日本写真家協会会員)
司 会 黒尾和久氏(国立重監房資料館部長)

本展の写真家・黒崎彰さんに、写真に映しだされた山下道輔さん、藤田三四郎さん、
苅雄二さんとの交流についてのエピソードや撮影時の苦労話、人権啓発の話などを
重監房資料館黒尾和久部長の進行により語っていただきます。

＜申し込み＞6月18日(水)～7月4日(金)

※火曜日は休館日のため除く。午前10時～午後4時でお申し込みください

＜申し込み先＞笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館 TEL0553-26-5100

＜出演・司会者紹介＞



黒崎 彰氏(写真家 日本写真家協会会員)

くろさき・あきら

新潟県小千谷市生まれ。2002年多磨全生園の山下道輔さんと知り合う。山下さんを通じて、栗生楽泉園の苅雄二さんとも出会い、交誼を続けた。2013年夏、重監房跡の発掘を記録に収め、翌年の資料館開館にむけて、出土遺物の写真撮影にも協力。2020年重監房資料館は企画展で黒崎彰写真展を開催。全国のハンセン病療養所を記録する撮影旅行を現在も行っています。



黒尾和久氏(国立重監房資料館部長)

くろお・かずひさ

東京都大田区生まれ。2009年から国立ハンセン病資料館に学芸員として勤務し、展示リニューアルや重監房資料館の運営及び普及啓発にかかわり、現在は国立重監房資料館の部長として活躍されています。

笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館

〒406-0013 山梨県笛吹市春日居町寺本 170-1

TEL 0553-26-5100 FAX 0553-26-3957

